

伊藤英子 男女共同参画みえネット

クレイマー、クレイマー ロバート・ベントン 米 1979年

この映画を見るまでは、この一本はずっと『風と共に去りぬ』だった。スケールの大きさ、原作にも表れているスカーレットの生き様が好きだった。

しかし、『クレイマー、クレイマー』の涙を湛えたメリル・ストリープの表情は、多くの女性の思いを語ってくれた。そして、ダステイ・ホフマン親子の生活の自立もはらはらしながら微笑ましい。

男女共同参画社会、この言葉はようやく世間に広まり少しは理解されたと思う。しかし、最近起こったセクハラ問題、女性の働き方をみれば、その実現にはまだまだ程遠いのである。世界のジェンダーギャップ指数でみる男女平等ランキングでは、日本は114位。その主たる要因は、経済では賃金格差があり、管理職が少ないこと。政治では、女性議員が少ない。つまりは、意思決定の場に女性がいないことからである。この映画が語るように、女性は経済的自立をし、男性は生活の自立が第一歩なのだ。

井上静夫 同人誌主宰

禁じられた遊び ルネ・クレマン 仏 1952年

その田舎の小さな映画館は古い名画と娯楽映画、子ども向けヒーローものを平気で2本立て上映するアバウトな映画館だった。当時その映画館には、父親の仕事の関係上タダで入ることができたこともあり、足しげく通ったことを記憶している。イノウエ少年、小学生の頃の話である。

ある日のこと、イノウエ少年はお目当てのヒーローものを見に行った。のであるが、その前に上映された一本の古い映画にいたく衝撃を受けることになる。それは外国人の小さな女の子と男の子が出てくるモノクロ映画だった。今までに観たことのない映画だった。そのうえ小学4年生が真に理解できる内容ではなく、訳がわからないまま、それでも胸の奥の方をひどくざわつかせながらスクリーンをじっと見つめていた。思い出すのはそれだけである。何だかわからないけれど胸騒ぎと驚きだった。

イノウエ少年の心をざわざわさせたその映画……それは後に『禁じられた遊び』というフランス映画だと知ることになる。そしてそれがイノウエ少年初めての洋画体験となるのである。